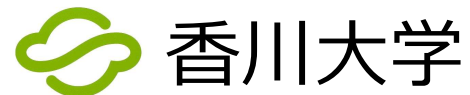


モモ新品種のご紹介

KU-PP1, KU-PP2



作成者：片岡・別府
無断転載不可

1. 品種の登録情報

品種名 「KU-PP1」

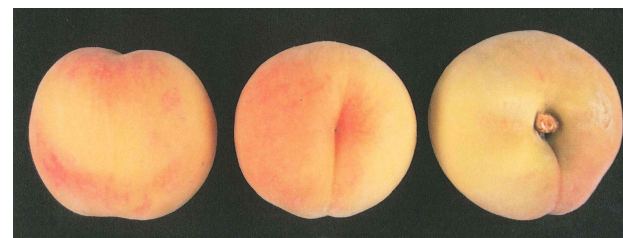
登録者 国立大学法人香川大学
登録番号 第23704号
登録年月日 2014年9月24日
育成者 片岡郁雄、別府賢治



品種登録
詳細情報
MAFF

品種名 「KU-PP2」

登録者 国立大学法人香川大学
登録番号 第24983号
登録年月日 2016年3月22日
育成者 別府賢治、片岡郁雄



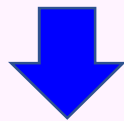
品種登録
詳細情報
MAFF

2. 品種育成の経過

香川大学農学部では、2004年から、芽が休眠が覚めるのに必要な低温要求量が少なく、促成ハウス栽培や温暖化に適応可能で食味の良いモモ品種の育成に取り組んできました。

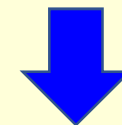
このため、日本の代表的な良食味品種の「白鳳」や「日川白鳳」にフロリダで育成された少低温要求性品種を掛け合わせて選抜し、2品種を登録しました。これらの品種は、少低温要求性のため開花が早いことから、露地栽培でも、極早生・早生品種と同時期の6月上中旬には収穫でき、食味も良好です。

「白鳳」×「Flordaprince」



「KU-PP1」品種

「Tropic Snow」×「日川白鳳」



「KU-PP2」品種

3. 品種の特長



栽培上の特長

- 通常品種に比べ開花が2～3週間早い（霜の降りやすいところには不向き）。
- 露地栽培で、極早生と同時期に収穫できる。
- 通常の極早生・早生品種と比較して果実生育期間が長いので食味が良い。
- 収穫期が早いので、夏の夜蛾の被害や高温障害を受けない。
- 休眠から覚めるのが早く、早期加温のハウス栽培にも向く。
- 地球温暖化による冬期の低温積算の減少にも適応できる。



果実の特長



KU-PP1

- 収穫は6月上中旬
- 果実の大きさは小（平均150g）
- 果皮は果頂部が濃い赤色に着色
- 果肉は乳白色
- 果実の甘味は中（平均糖度13%）
- 核割れの多少は無又は極低

KU-PP2

- 収穫は6月中下旬
- 果実の大きさは中（平均200g）
- 果皮は橙赤色に着色
- 果肉は黄色
- 果肉の甘味は中（平均糖度11%）
- 核割れの多少はやや高

4. 経済栽培の事例

(有) 稚媛の里 (岡山県赤磐市)



KU-PP1の栽培状況



KU-PP1の産直販売

本品種の栽培にご関心のある方は、以下にお問合せ下さい。

■香川大学 産学連携・知的財産センター
知的財産コーディネータ 吉田 恵
美 (四国TLO)

<yoshida.megumi@kagawa-u.ac.jp>

■香川大学農学部 教授 別府賢治

<beppu.kenji@kagawa-u.ac.jp>